

# 景観シンポジウム

『水と緑、そして歴史を守り、魅力あふれるまちづくりに向けて』

■日時 平成23年  
**9月23日(金・祝)**  
13:00~16:30【受付12:30~】

■場所 **桑名市民会館**  
(三重県桑名市中央町3-20)

## ■主なプログラム(敬称略)

- ◆基調講演  
演題 『身近な景観価値の発見とまちづくり』  
後藤 春彦 早稲田大学創造理工学部長・教授
- ◆景観整備機構の紹介  
社団法人三重県建築士会
- ◆景観まちづくり活動報告  
コーディネーター 浅野 聡 三重大学大学院工学研究科准教授  
コメンテーター 後藤 春彦 早稲田大学創造理工学部長・教授  
報告者(50音順)  
伊藤 肇 三本杉の自然を守る会(桑名市)  
中西 万喜夫 一身田観光振興懇話会(津市)  
坂 忠男 特定非営利活動法人 市民協働支援機構(岐阜県大垣市)

駐車場に限りがございますので、  
できる限り公共交通機関を  
ご利用ください。  
(近鉄・JR桑名駅から徒歩約10分)



**入場無料**



■申込期限  
**9月20日(火)**

## ■申込・問い合わせ先

三重県 県土整備部 景観まちづくり室 〒514-8570 津市広明町13番地

TEL:(059) 224-2748 FAX:(059) 224-3270 E-mail:keimachi@pref.mie.jp <http://www.pref.mie.lg.jp/KEIMACHI/HP/>

桑名市 都市整備部 都市整備課 まちづくり景観室 〒511-8601 桑名市中央町2丁目37番地

TEL:(0594) 24-1196 FAX:(0594) 23-4116 E-mail:machikeim@city.kuwana.lg.jp <http://www.city.kuwana.lg.jp/shirase.html?id=1187>

■当日は要約筆記を行います ■このシンポジウムは、建築士会CPD(継続能力開発)制度の認定を受けています。

■主催 三重県・桑名市 ■後援 社団法人三重県建築士会

リサイクル適性 (A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

## ■景観シンポジウムの開催趣旨■

私たちが住む三重県は、伊勢平野から眺望する鈴鹿山脈や養老山地などの美しい山並み、伊勢湾から熊野灘にかけての変化に富んだ海岸線、川がつくり出す美しい渓谷や河口の水郷景観、東海道・伊勢街道に残された情緒あるまちなみなど数多くの景観資源に恵まれています。普段、あたりまえのように見ている景観も、社会経済の変化などによって美しさが失われてしまうこともあります。

皆さん、身近にある美しい景観を再発見して、次の世代へ継承していくために、みんなでできることを考えてみませんか。

## ■基調講演／活動報告コメンテーター■

後藤 春彦(ごとう はるひこ) 早稲田大学創造理工学部長・教授、工学博士

1957年生まれ。早稲田大学大学院博士課程修了。三重大学工学部助教授、早稲田大学理工学部助教授等を経て1998年から同教授、2010年より現職。世界居住学会副会長、日本都市計画学会副会長、日本生活学会会長などを務める。「生活景」と呼ばれる暮らしの風景から、それを下支える社会のしくみまでを含む地域計画・都市設計を実践的に研究している。2005年日本建築学会賞(論文)、2010年グッドデザイン賞、2010年土地活用モデル大賞、2011年都市計画学会賞(計画設計賞)を受賞。

## ■活動報告コーディネーター■

浅野 聡(あさの さとし) 三重大学大学院工学研究科准教授、工学博士

1964年生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了。早稲田大学助手、三重大学助教授等を経て2006年から現職。専門は都市計画、都市設計、歴史的環境保全計画など。三重県景観審議会副会長、三重県屋外広告物審議会会長、松阪市・桑名市・亀山市景観審議会会長、伊賀市景観審議会副会長、伊勢市都市計画審議会委員などを務める。桑名市をはじめとし、伊賀市、松阪市、伊勢市、亀山市、津市などにおける景観計画の策定に携わっているほか、数多くの地域で市民と行政の協働型まちづくりの実践に関わっている。

## ■景観整備機構の紹介■

社団法人三重県建築士会

当会は、建築士の品位の保持と技術の向上及び建築士業務の進歩改善を行い、建築文化の進展を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的とし、主な事業として、建築士試験の実施、建築士の定期講習及び建築技術に関する講習会等を実施している。また、「まち・もの・くらしづくり」に関する地域貢献活動を推進するため、平成20年度に「みえ地域貢献活動センター」を設立し、地域活動への助成・支援を行い、地域社会の発展に努めている。平成21年度には、三重県、伊勢市、四日市市、松阪市から景観整備機構の指定を受け、歴史的地区における景観法の活用調査への協力や景観デザイン賞を選定するなど、幅広い景観に関わる事業を実施している。

## ■景観まちづくり活動報告■

伊藤 肇(いとう はじめ) 三本杉の自然を守る会 会長(桑名市)

多度山頂には根元から3つに幹が分かれる杉が多く見られることから、地元では多度山を三本杉と呼んでいる。麓に広がる柚井地区の住民が中心となり、三本杉へのハイキングコース周辺の自然を見つめ直し、未来を支えてくれる子どもたちのために、地権者ととも植樹などの保全活動や自然とのふれあい活動に取り組んでいる。

中西 万喜夫(なかにし まきお) 一身田観光振興懇話会 会長(津市)

一身田商工振興会のメンバーを中心とし、真宗高田派本山専修寺に協力し、寺内町にかつてのにぎわいを取り戻そうと活動している。案内ボランティアである一身田寺内町ほっとガイド会の育成や、県が取り組む「まちかど博物館」への参加、昔のまちなみを案内板で紹介する取組、環濠の地区住民による清掃活動など、訪れる人への「おもてなしの心」を持ってまちづくりに取り組んでいる。

坂 忠男(ばん ただお) 特定非営利活動法人 市民協働支援機構 代表理事(岐阜県大垣市)

中山道と東海道を結ぶ美濃路街道沿いにあり、水運により繁栄した大垣市船町をはじめ、市内に残る歴史的な景観を活かしたまちづくりに取り組んでいる。平成12年から平成15年にかけては、大垣まちづくり応援団代表として地域の住民と協働し、昔の船町にあった橋の存在を示す道標の再建や、美濃路を再発見する市民投票などを行った。

## ■申込方法■

県ホームページ又は、下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送、FAX または電子メールにてお申し込みください。申込者が予定定員(150名)を超えた場合は、抽選になることがあります。(抽選からもれた時のみ、申込者に連絡します)

■申込期限 平成23年9月20日(火)

入場無料

## 景観シンポジウム参加申込書

申込年月日 平成 年 月 日

お名前	電話番号 (携帯可)	( )	-
ご住所	〒		
電子メール (ある場合のみ)			

○複数で申し込みされる場合、代表者以外の方はお名前のみを記入してください。

お名前	お名前	お名前

なお、ご記入いただいた個人情報は、当シンポジウムの申し込みのためのみに使用し、その他の目的に利用したり第三者への提供はしません。